

2012年度一般社団法人日本石材産業協会 第2回常任理事会

日 時：2012年9月4日(火) 13時00分～17時00分
場 所：東京文化会館大会議室 進行役：中江専務

議事録

I. 開 会

II. 会長挨拶：射場会長

私たち自身調子が良い時は気づかないかもしれないが、実はたくさんの人に支えられて日々の生活を過ごしていると感じました。普段、自分の目に見えないところで自分を支えてくれている人のことに想いを重ねながら今日の常任理事会を進めていきたいと思えます。本日一日どうぞよろしくお願いいたします。

III. 議 事

1. 議長選出：望月副会長
2. 定足数確認：常任理事38名の過半数以上、定足数は20名。出席者32名（谷本当日欠席）。
3. 議事録署名人の指名：副会長：井口 功 監事：斉藤勝実 議事録作成：中村早苗
4. 資料及び議案の確認、新議題の採択
5. 前回議事録の承認：2012年度第1回理事会 議事録
6. 第3回、第4回正副会長会議：承認議案について正副議事録参照

【審議事項】

1. 入退会者について：事務局 中江専務 審議資料 P1

- (1) 入会者12名について **原案通り全会一致にて承認**
- (2) 退会者4名について **原案通り全会一致にて承認**

2. 各事業報告等について

(1) 年次大会2012事業報告について 二上実行委員長 審議資料 P11

反省の部分について・・・当日キャンセルの扱い 次年度のへ踏まえて反省点をいかす。
収支差額はゼロとしたい。

審議：原案通り全会一致にて承認

◆年次大会業者セミナーについて質問

新田：(株)石文社が業者セミナーにて内容が当日変更のあった点について質問。

申請した内容変更をと厳重注意をしたその後の結果を報告してほしい。

二上：委員長より概略説明。

業者セミナーにおいて先祖の話を読む会という申請であったが、小島先生の方で新たに立ち上げる検定試験の内容、出資に関する内容のセミナーが行われた。

石産協と競合する試験内容（一般向けお墓検定）実行委員会としては問題があるかと思う。石文社に対して申入れ書を厳重注意として渡し抗議をした。万が一同じようなことがあった場合、出展を停止すると通告。中江社長より電話にて、謝罪と再発防止の確約あり。

新田：お墓ディレクター委員会の見解か？

山口：第3回正副会長会議議事録に掲載済み。委員会では一般向けは考えていない。

(2) 年次大会2013実行委員長について 二上委員長より

戸高氏を新実行委員長に推薦 **原案通り全会一致にて承認**

戸高：一年間よろしくお願いいたします。東京開催なので南関東地区各支部より実行委員メンバーとしてより多くの参加・ご協力いただけますようお願い申し上げます。

(3) 第3回通常総会について 中江専務 審議資料 P16

原案通り全会一致にて承認

(4) 10周年記念祝賀会について 中江専務 審議資料 P18

原案通り全会一致にて承認

3. 各事業計画について

〈地区より〉

岡本地区長 審議資料 P19

(1) 中国四国地区全体会議について

グループ別ディスカッションを実施。メインテーマ：『失敗からの成功を勝ち取るには！』
他にも2項目ほどテーマを考えている。

筒井：中国四国地区は山口県をもって全部の支部が地区大会主催を経験となる。

地区内の会員大会ではあるが、地区外から出席は大歓迎。

審議：原案通り全会一致にて承認

(2) 工事受注件研究会、北陸地区会議について 井口功副会長 審議資料 P21

白木： 当日岡崎の展示会とバッティングなので迷惑が掛からないように

審議：原案通り全会一致にて承認

〈委員会より〉

(3) 社会調査委員会：第5回お墓なんでも相談室について 柴田委員長 審議資料 P23

柴田：相談室10支部開催予定。

運営方法として単数開催、複数開催の本部予算を前回と変更

審議：原案通り承認

(4) お墓ディレクター委員会：DM発送について 山口副会長 審議資料 P26

山口副会長より

上野：一般消費者にお墓ディレクターが伝わっていない。プレスリリース方法は何か？

山口：簡単なパンフレット、HPアップを考えている。

審議：原案通り承認

(5) 広報委員会：消費者意識調査データのプレスリリースについて 上野委員長 審議資料 P29

上野：10ブロックへリリース

各地で委員会を実施・・・各支部にて彼岸までにリリースを依頼したい。

審議資料 P35 産経新聞赤堀氏の意見を取り入れた資料を使用。リリース方法 パターン

方法4種提案。(P31活用法参照)内容的に掲載率が高い。本部にて送る場合の予算計上。

地域のメディアにコネクションを作り目的。

柴田：パイプを掘り起こしてもらいたい。システム化して行ってってもらいたい。

業界のポジションをつくってもらいたい。

上野：資料とリストは事務局より送付

山口：広報と同時に お墓ディレクターとお墓物語のリリースを一緒にお願いたい。

審議：原案通り承認

〈その他〉

【協議事項】

1. 各事業計画について

〈部会より〉

熊野委員長 協議資料 P1

(1) 輸入卸商部会：業界向け映像制作について **審議に変更**

熊野：より良いものに仕上げていきたいので審議のほど宜しくお願いします。

BGMは著作権の関係があるので変更する。

新田：工場の従業員の写真を捲っているズボン・ゴム草履の姿はない方がよいのでは？

薬品の写真は出しても大丈夫なのか？消費者が見た場合は？

熊野：部会の中でもう一度検討する。

福川：営業的に顧客に見せてよいのか？コピーも自由なのか？

熊野：自由につかってよいが、一般の顧客が見せる場合は内容的に削除が必要。

太田：現実には現実として、短納期の場合は薬品云々という行為ありと知ってもらい

きちっとしたものは(対価)を頂くという形にした方がよい。

柴田：納期の部分は2.3日で仕上げるとするのは小売りの立場として問題がある。

コピー自由となると場合によっては何か資料の提出を求められた場合出せない。

内容は本日審議？後程審議になるのか？

犬塚：前回正副にて協議。内容をみて常任理事会にて審議。難しいのであれば再審議。

熊野：目標は11月にDVDを作成

犬塚：あくまでも業界向けである。コピー自由となるとどこまで出てしまうのか危惧する。

部会としては、販売店などに現状、現実を知ってほしい。エンドユーザー向けではない。

伯井 コピーは問題である。キャリアアップが目的であるならば、目的を精査し現状ではなく、発

注からのマニュアルを示し情報の錯乱を避けた方がよい。プロセスのフォーマットを示してほしい。最近テレビなどで報道されているが悪用などに注意が必要である。

熊野：納期などのフォーマットを入れた方がよいと思う。だが、厳密過ぎると商社間に差が出る可能性がある。濁したほうがいい部分があるのではないか？

伯井：標準基準を示した方がよい。現状だけを取り上げてしまっただけでは、表現方法について悪用されてしまう。(傷等について) 素材を生かすためにこのようにしている。という工夫が必要。

熊野：部会にて再度協議する。

中江：正副にてDVD内容をみて審議等言う結果だったが、売る立場の意見をいれて、もう少し時間をかけたらどうか？

射場：DVDを作成という方向性で内容を吟味し次回改めて協議上程。

議長：部会へ差し戻し。再度部会で検討し正副→理事会に上程

〈委員会より〉

大川委員長 協議資料 P4

(2) 次世代育成ネットワーク委員会：

全国青年部合同研修会、全国青年部長連絡会議について

(日程のみ審議事項に変更)

12月6日・7日岡崎にて開催

全会一致にて承認

(3) 広報委員会：石産協通信発行について

上野委員長 協議資料 P6

上野：広報委員会にて今後石産協通信を作成。(協議資料 P8 メニュー案参照) ニュースの鮮度のためにメールにて配信を検討中。PCを使わない会員もこれを機にPCを使うようになってもらいたい。営業ツールとしても使えるようにするための石産協通信の作成を考えている。

柴田：取材方法は？

上野：広報委員会委員メンバーにて取材依頼。広報委員会は進行を管理。

戸高：印刷はどこで？

上野：これまで(プリントパック)と変わらず。

中江：予算の中で取材費、印刷費はどうするのか？

上野：現状の石産協通信はどうするのか？

中江：事務局としては広報委員会が引き継ぐと思っていた。今後どうするのか？

上野：石産協通信に関しては話がされていない。

二上：案について賛成。次回理事会(11/28)にて審議となると滞る。今まで通りで事務局体制は大丈夫か？危惧する。

中江：石産協通信を発行しているが、会員の人が開封しているのか疑問である。

上野：どうしたら石産協通信の封筒を開封してもらえるのか？を考えメニュー案を出している。

射場：事務局で大丈夫というのは評価するが広報委員会で担ってもらいたい。

福川：ネタ切れを危惧。今後この予算で今後行っていくのか？毎年続けていくのは厳しいのではないかとスタンスの確認。単年度なのか？毎年続けていくのか？正副にてメルマガはいかがかという意見が出ている。

上野：メルマガと紙媒体を併用したいと思う。ネタに関しては大丈夫だと思う。依頼者に期限までに必ず書いてもらう。

中江：一度、96,000円の予算で見本を試したらどうか？

井口：一番弱かった広報部分を委員会にお願いしたい。石産協の活動情報を会員に伝えたい。

議長：10/2 正副にて見本を提示しよう一度協議する。

(4) お墓ディレクター対策勉強会について 〈追加協議〉

山口副会長 追加資料 P1

山口：通例事業としてご理解いただきたい。内容は東京・大阪2か所

日程は講師の予定を確認後決定。10/2 正副にて審議依頼。

〈その他〉

(5) 正副会長より：旅費交通費規定について

中江専務 協議資料 P10

中江：外部団体からの依頼による会議等の出席旅費を検討したい。

大川：青年部等の会議出席する交通費・岡崎ソフトウェア・二人参加の場合などの場合支給されるのか？

中江：再度正副にて検討する。

戸高：合理的な航空運賃とは？キャンセル料は？そういった部分も交通費として支給されるのか？

太田：特割などを利用すればよい

中江：出来るだけ安く合理的に交通費を支給。

柴田：他団体となっているが海外からの場合はどうするのか？助成金としてはどうか？

福川：予算は今後大丈夫か？

中江：15万円の予算は今年度の予算。規定としては審議していただきたい。

筒井：協会を代表して出席する場合は実費を出すという形にした方が良いのでは？

望月：金額について今回は協議、次回理事会にて審議。次回理事会にて予算とともに提出

IV. 報告・依頼・確認事項

〈地区・支部より〉

1. いばらぎストーンフェスティバル 2012 後援について 中江専務 報告資料 P15

中江：後援名義使用を承諾 射場委員長欠席のため長江副会長出席

2. 兵庫県支部長交代について 中江専務 報告資料 P17

中江：FAX 審議にて承認。(但し返信なしが多すぎる。必ず返信をしていただきたい。)

能島新支部長：支部の活性化に少しでもお役に立てるよう全力を尽くしたいと存じます。

3. 国産石材産業支援事業について 中江専務 報告資料 P21

中江：国産石材産業支援事業に協会として取り組むということ具体的に進めるために内容を突き詰めていかなければいけない課題だと思う。

友常：採石原石部会でも議題として挙がっている。部会にて検討予定。

〈部会より〉

4. 加工部会：ストーンマン・カフェ実施報告 坂口部会長 報告資料 P22

坂口：今後も人数を増やしながら進めていきたい。

5. 輸入卸商部会：日中石材技術研修会について 熊野部会長 報告資料 P24

熊野：正式名称：日中墓石技術交流会 2012 を 9/19 福建省崇武にて開催

翌日中国工場ツアーを実施(望月副会長指導)現在 17 名出席予定。

6. 関連部会：中国大連地区現地視察・交流ツアーについて 湯口部会長 報告資料 P26

湯口：10/10～10/13 中国大連地区加工工場がどのような機械でどれだけの精度で加工されているのか日本の企業で中国に工場がある企業(三和研磨工業)を見学。

〈委員会より〉

7. 社会調査委員会：お墓なんでも相談室 2012 経産省後援について 中江専務 報告資料 P28

中江：経済産業省より『全国お墓なんでも相談室』の後援名義が承認された。

8. 委員会メンバー募集について 中江専務 報告資料 P29

中江：各委員会の応募リストを資料にしたが、各委員長は応募リストを参考に検討してほしい。

9. 役員候補者推薦委員会より 中江専務 資料なし

中江：役員の推薦方法がはっきりしていない。変則的な推薦がないように、再検討。

次の改正まで選挙管理委員会という性格確立。役員候補者推薦委員会の内容意を精査。

一年かけてシステムを作り担当責任者として筒井副会長にお願いしたい。

筒井：了承しました

一同異議なし。

〈事務局より〉

10. (1) 理事交通費申請書を速やかに事務局まで 9/30 までに提出 中江専務 追加資料 P3

(2) 会費未納者について(納入状況) 中江専務 報告資料 P32

(3) 入会申込書について 中江専務 報告資料 P32

中江：入会申込書の様式変更。推薦者印は無とする。

(4) 福澤邦夫石造文化財拓本集について 射場会長 資料なし

射場：福澤邦夫石造文化財拓本集の著作権の買取を正副にて検討中。費用として 20 万

最新版第 4 集 60 冊を作成し、先方に渡せば今までの第 3 集までを含めて著作権を譲るという話がある。現在正副にて協議中。

(5) 仏教の未来に挑戦する情報誌「フリースタイルな僧侶たち」のフリーマガジン協賛について

射場会長 資料なし

射場：年 6 回発行 年会費 3 万円 正副にて協議中。

(6) 準会員について 中江専務 資料なし

中江：準会員のあやふやな部分について検討を継続。定款の見直しを含めて更に吟味。

〈その他〉

直前：通路を作ったことにより現地の石材店の作業がしやすくなっている。

2. 中江：差し替え資料の会議日程を確認依頼。

V. 監事講評 齊藤監事より

齊藤：いろいろな意見をお聞きしました。本会の発展をご祈念して監事講評に代えさせていただきます。

その他

小柴：北関東地区・南関東地区合同地区会議開催検討中。

VI. 閉 会

2012年9月 日

議事録署名人： _____ (印)

議事録署名人： _____ (印)

議事録作成人：事務局